



2007 ~ 2008 年度
R I テーマ

ROTARY SHARES

ロータリーは分かちあいの心

国際ロータリー会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン(国籍・カナダ)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
 ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
 TEL 23-1111
 事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
 〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
 FAX (0977) 23-9019
 http://www.beppu4rc.jp/chuo/
 E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	平野英壽	理事	桜田健治	役員	会長	森 宗明	S A A	上妻 浩
"	村津忠久	"	河村貴雄	副会長	副会長	平野英壽	直前会長	上妻 浩
"	津末美代子	"	後藤孝弘	幹事	幹事	大島由美子		
"	後藤 隆			会計	会計	近藤賢司		

VOL . 20 - 3
2007年 7月 17日

第 875 回 例 会

会報委員長 徳丸 一郎

点 鐘 12 : 30
 体 操 自律神経強化体操
 R S 我等の生業
 唱 歌 浜辺の歌
 B. G. M 「オーケストラで綴る日本の愛唱歌」より
 テネシーワルツ
 谷間の灯
 雪山讃歌 他
 ビジター 神 日出男 後藤 憲志
 佐藤 秀男 木村 勝二
 (別府北RC)

出席報告 委員長 中島 澄人

本	会 員 総 数	22 名
日	出 席 者	19 名
の	事前メイクアップ	0 名
出	理 事 会 承 認	0 名
席	出 席 免 除	0 名
	欠 席 数	3 名
	出 席 率	86.36 %
前	出 席 率	81.82 %
々	事後メイクアップ	0 名
回	理 事 会 承 認	0 名
の	出 席 免 除	0 名
訂	修 正 出 席 率	81.82 %
正		
7/3		

連 続 - 回
 通 算 - 回 100 %

・メイクアップ

事前
 事後
 欠席 桜田、溝部、津末

ご当地別府では、旅館、ホテルのキャンセルが相次ぎ、待望の三連休が最悪の連休になったようです。昨日も雨でしたし行楽地も含め損害はかなりなものでしょう。いずれにしても自然の驚異に我々はなすすべが無く、改めて自然の猛威に対して人間の非力を感じました。

今日、科学技術がすごい勢いで発達し、さも何でもできるかのような錯覚に陥りますが、時として訪れる大自然の驚異は、まるで、思い上がった人間をあざ笑うかの様です。

会長の時間 会長 森 宗明

新潟県中越沖地震は大変な被害で、被災者の方には心からお見舞い申し上げます。先日別府でも頻繁にゆれたこともあり、改めて自然の驚異を感じました。

さて、一昨日の台風は、七月に上陸した台風では1951年に統計を取り始めて以来最強で、死者3人行方不明1人、けが人70人を超える被害を出しました。

発生の原因のひとつとして考えられるのは南米ペルー沖の海水温が高い「ラニーニャ現象」と言われています。従来大型の台風は秋に来るのですが、季節外れの大型台風に、被害は甚大です。沖縄、南九州、宮崎は特に被害が大きかったようですが、大分県でも例えば佐伯の水田では早期水稻コシヒカリの稲穂が一晩で乾燥して真っ白になり収穫ができそうにないとの事、いずれにしろ想定外の台風になすすべがなかった様です。



今回の季節はずれの台風の原因の「ラニーニャ現象」にしても、その発端は地球の温暖化が原因と言われています。便利優先のために自然のルールを無視したつげが、回りまわってこういう天変地異の形で現れるのでしょうか。

その昔、八百万の神が信仰の対象としてあがめられた頃、何かにつけ、自然、神仏、そして先祖に感謝し、日々おごることなく身の程を知り、淡々と生きていた頃があったのです。今回の季節外れの台風も、人間のおごりをたしなめているかのようです。つまりはこの今回の台風にも感謝しろということなのでしょう。どうやら、もう一度自然のルールを知り、悔い改めることが多くあるようです。

幹事報告 幹事 大島由美子

1. 本日の卓話
『四つのテスト』森 宗明会員
2. 2007～2008年度RI第2720地区奉仕プロジェクト
「子どもといのちのセミナー」開催のお知らせ
日 時 平成19年8月25日(土曜日)
12:30～登録受付 15:10～講 演
13:00～点 鐘 16:10～質疑応答
13:30～基調講演 16:20～講 評
15:00～質疑応答 ～16:30閉 会

基調講演 『仮称:大事なことはボランティアで教わった』
子どもの支援に、いま一番必要なもの
NPOチャイルドライン支援センター代表理事
牟田悌三氏(世田谷南RC)
講 演 『仮称:子どもといのち・こうのとりのゆりかご』
慈恵病院・病院長
蓮田晶一氏(熊本東RC)
場 所 くまもと県民交流会館パレア大会議室
(☎096-355-4300)
出席要請 会長、幹事、奉仕プロジェクト委員
員長、社会奉仕委員長、希望会員
*本日回覧いたします。参加ご希望の方は、幹事または事務局までお申し出下さい。
3. お祝い(次週24日は夜例会の為、本日お祝い致します。)
会員誕生日 後藤 隆会員(7月18日)
*記念品をお渡し致します。
結婚記念日 中島澄人会員(7月21日)
*ご自宅にお花が届きます。
4. 例会変更のお知らせ
大分東RC 7月26日(木)の例会は、夜例会
の為、同日18:30～豊の国健康

ランドに時間・場所変更

5. 次週の予定
「夕涼み例会」
*時間・場所を変更して18:30～別府タ
ワー 17階で開催致します。
「会員コラム」後藤 隆会員
(原稿をお願い致します。)
6. 本日の回覧
くにさきRC 週報
「夕涼み例会」(7月24日例会)出・欠席
「もみじ谷整美作業」(7月29日(日))参
加・不参加
「R米山記念奨学会 財団40周年記念オリ
ジナル切手シート」購入希望
奉仕プロジェクト【こどもいのちのセミ
ナー開催のご案内】
7. 本日の配布
週報874号
ガバナー月信No.12
『再びロータリー情報の重要性について』
鳴海淳郎R情報委員長

スマイルボックス 委員長 赤嶺 リサ

別府北RC 神・後藤・佐藤・木村氏
別府中央ロータリー会長、幹事、会員の皆様
の新年度船出をお祝いいたします。
森会長
別府北ロータリークラブの皆様、ようこそい
らっしゃいました。また、来て下さい。お待ち
しております。団体様歓迎です。
平野会員
大変遅くなり申し訳ありませんでした。針灸
に行っていました。
大島会員
北ロータリーの皆様、ようこそお越し下さ
いました。貴ロータリークラブは3名会員増強さ
れましたので、よかったです移籍して下さい!
今日はありがとうございます。
高宮会員
本日は多くのビジターの方々、ご出席ありが
とうございます。
上妻会員
森会長の本日の卓話よろしくお願ひします。
村津会員
台風4号、会員のみなさんの所では如何でし



たでしょうか？

翌日15日の朝は、スパビーチ、上人ヶ浜、関の江海岸で一斉海岸清掃日でしたので、コーラスメンバーを連れてスパビーチに参りましたら、雨は上がり、青空も顔を出していたのに中止でした。

気分だけの社会奉仕で残念ですが、清々しい散歩が出来た事にスマイル。

近藤会員

前宣伝が大きくて心配だった台風も大被害がなくてよかったよかった。今日は私が入会して以来4名もビジターが当クラブに来てくれるなんて初めてのことでよかったよかった。特に前北ロータリークラブの幹事の後藤さんの肩が心なしか楽になったように見えてよかったよかった。

河村会員

北クラブのいつも明るくにぎやかな皆さん、ようこそ(失礼ないい方ですみません)、自分のクラブ以上に楽しんで下さい。

後藤(隆)会員

道路が混んでいて遅刻しました。おわびしてスマイル。

後藤(孝)会員

皆さん久しぶりです。おわびにスマイルします。

亀井会員

別府北RCの皆さん、ようこそ中央へ。どうぞゆっくりして下さい。

私は台風をのがれて北海道へ行っていました。なんとあの“長嶋さん親子”がゴルフの表彰式にチャーターのジェット機で来ていました。

徳丸会員

選挙が大変になってきました。よく知っている人が複数いても票は1つしかない。みんなにいい顔をして、あースマイル。

梅津会員

本日は北ロータリーの会員の皆様方ようこそ当クラブへおいで下さいました。いつも北ロータリーの会員様の結婚御祝いや、等々に我が社のお花を使って下さいまして、ありがとうございます。この場をお借りしてお礼を申し上げます。どうぞ当クラブの女性会員の華と一輪挿しの花とで歓迎いたします。スマイルいたします。

衛藤会員

台風4号は、みなさん被害ありませんでしたか。

北ロータリークラブの皆様、ようこそ。どうぞゆっくりなさって下さいませ。

赤嶺会員

本日はビジターの皆様、ようこそ中央ロータリーへ。ごゆっくりなさって下さい。

昨日ありました中越地震、まだ3年しか経っていないのに、本当に被災された方々の心中を思うと胸の痛くなる思いです。早い復興を心より願います。

卓 話

森 宗明

あらためて「四つのテスト」について

私のロータリー暦は12年と6ヶ月です。諸先輩に比べますとまだまだ短いロータリー暦です。そんな私が本日のタイトルのようなことをお話するのは思い上がりかも知れませんが、少しお話をさせていただきます。

つまりは、ロータリーに出会う前とロータリーに出会ってから、私の中で何がどう変わったかということですが、解りやすく仕事を通して考えてみました。

私たちは日々仕事をし、毎日いろんな問題に遭遇し、そのときの判断で、それらを解決し、また前へ進む。これを繰り返しています。ここで大切なのは、判断の良し悪しを決める「基準」がどこにあるかではないでしょうか。ロータリーに入会するまでの私の判断基準は、例えばその判断が、会社の利益につながるか、つまり損か得か、が一番の判断基準でした。それが全ての判断の基準でした。仕事以外で周囲とのお付き合いがあまりありませんでしたから、世間が狭かったですし、意見をしてくれる人も周囲にいませんでしたから、どうしてもそう考えてしまっていたのです。

まず「真実かどうか」についてですが、これについては、小さいとは言え、私も一応会社の代表ですから、例えばなにか事が起こったとき、そのことが本当かそうではないか、まず判断をしなくてはいけない立場ですのでそれなりに「正しい判断をしよう」と言う意識はあったと思います。

ですが、会社を始めた当時は、事実関係や事の経過を確かめもせず、いきなり頭ごなしに社員を怒ったこともよくありました。ですが最近では、先ず当事者の話を聞く、周囲の状況も併せて考える、そして最善と思われる解決策を講じる、といったようなことがどうにかできるようになりました。

若い頃はよくわけも解らず怒っていたものですが、最近ではほとんど怒ることはなくなりました。もちろん意識して叱る事はよくあります。

「真実かどうか」はまず「人の話をよく聞く」ということでしょうか。

次に「みんなに公平か」ですが、ロータリーに入会する前はとてそんなことは頭にありませんでした。「公平」の意味さえ取り立てて考えたこ



ともありませんでした。そのときの気分とか社員の自分への忠誠心、自分との相性など、実にあいまいなことで判断していました。例えばスタッフに意見をするときも、そのときの気分で作っていました。おれは社長なのだからそれくらいわがままはまかり通ると思っていたのでしよう。今思えば実に恥ずかしい事でありました。

この「公平か」が本当に難しい。例えば、社員の評価をするときにも、なべてみんな同じにすることが、時として「不公平」になる場合もあります。「公平」の難しいところは「正しい評価」があって始めて成り立つと言うことでしょうか。そして、この「正しい評価」が実に難しい。私情が入る。どうしても入る。それでもロータリーに入会して四つのテストに出会うまでは、「正しい評価」などと言うことすら考えも及びませんでしたから、考えるようになっただけでも、入会の効用であります。私の中では、考えるようになっただけでも大きな進歩なのです。実のところ、今でも完全にはできていないと思います。が、少しずつ考えるようになってきました。

次に「好意と友情を深めるか」。そもそも特定の友人知人、身内以外の人、他人に対してはまったくそんなことは考えませんでした。この四つのテストの「好意と友情を深めるか」はすべて万人に対して、と言うことだろうと思うのです。この次いつ逢うか解らない、何処の誰とも知れない人に対して、そんな配慮はほとんどありませんでした。が、ロータリーを知ってから、一変しました。

例えば「情けは人の為ならず」と言う言葉があります。これは、情けは人の為にならないので情けはかけないほうが良い。という意味かと思っただけですが、実は人に情けをかけることが巡って自分に帰ってくる、つまり人の為ではない自分のことなのだとの意味だと解りました。これは鳴海先生がいつもおっしゃる「最も奉仕するもの、最も報われる」に通じるのかも知れません。何処の誰であれ、しようとするその行為が相手に好意的か、そのことで敵を作ることにならないか、例えば知り合いであれば、さらに友情が深まるか。そのように考えそのように行動しているか。ここでもまだまだそのときの気分、私情がまだに入ります。なかなか「他人の幸せが私の幸せ」という境地には至っていないのです。簡単に「思いやり」と言う言葉に置き換えてもいいのかも知れません。

次に「みんなの為になるかどうか」。これもまた相手は不特定多数です。特定の相手に対しては当たり前を考えますが、何処の誰にでも、が難しい。で、これは「職業奉仕」でかなえられるかなと思います。仕事をしていく以上、これから先、何処の誰と出会うか解らないわけです。今後仕事をしていく上で常に精一杯のことをしていく、つまりは社会の役に立つことを心がける。言い換えれば、みんなのため、は、社会のためといえませんか。

いまでは公私を問わず、物事を常に四つのテストに照らして考えるようにしています。そうすると目先の損得で行動して失敗したというようなことがほとんどなくなりました。あとで考えてあの時ああしとけばよかったと思うことが、なくなりはしませんが、かなり少なくなりました。日々問題は絶えませんが、争いごとはほとんどなくなりました。

入会から5～6年はほとんどなにもわからず、ただ一生懸命お付き合いをしてきたように思います。四つのテストも真剣に対峙したことはありませんでした。時間が過ぎるほど、年月を重ねるほど、この言葉がありがたく、重くなって来ました。

私はもともと頭脳明晰ではありません。どちらかといえば、ピントハズレのところが多くありますし、この歳になっても未だに人付き合いは上手ではありません。とても苦手です。今でも休日ほとんど一人で過ごします。知人は多いですが、友人は少ないほうだと思います。ですから一層私にとってロータリーの仲間は大切な友人であります。これからもできる限り長くお付き合いをさせていただきたいと、心から思っています。

最後に余計なことかもしれませんが一言。

ご存知ない皆さんもいらっしやると思います。この数年2720地区内のパストガバナーの間で、裁判沙汰にまでなるようないさかいがありましたし、今でも尾を引いているようです。つい先日にも早速2通の文書が私の元に届いています。とても悲しいことです。事に関わっている皆さんには是非とも、四つのテストに照らして考えてみていただきたい。ロータリーの門をくぐる最初のテストに照らしてみていただきたい。バッジを着けている以上、私たちはロータリアンであり続けなければならない責任があります。

会員コラム

後藤 孝弘

近頃、パーティー出席で思うこと。パーティーには義理も人情もないのだ！遠くに知っている人を見つけ、双方合意のもとに、ヤア、ヤアといいながら近づいていくうちに、横から別の人が声をかけた、するとその人は、そのまま声のほうに曲がって行ってしまった、ということさえある。あ

るいは、水割りを取ってきてくれ、と言われ苦勞して水割りを獲得して戻ってみると、元のところには誰もいない、などということもあった。

パーティーでは、裏切り、背信、離反、条約破棄などは普通のことなのである。

次回は、後藤隆会員です。